

世界の「推し」は日本の「コンテンツ」！

——ジェトロ、コンテンツ産業の海外支援体制を拡充

日本貿易振興機構（ジェトロ）理事長

石黒憲彦
いしぐろ のりひこ



『鬼滅の刃』に『進撃の巨人』、『転スラ』に『東京卍リベンジャーズ』――。

2025年8月20～22日、アフリカの開発をテーマに、49カ国が参加した第9回アフリカ開発会議（TICAD9）。ジェトロはパシフィコ横浜の展示ホール1万平方メートルを使い、日本とアフリカのビジネス交流イベント TICAD Business Expo & Conference（TBEC）を開催した。アフリカで活躍する企業など約200の日本企業・団体が出展。アフリカと日本双方の官民関係者が多数来場し、大いににぎわった。

この会場の入り口を抜けて、来場者が最初に目にした企画展示のテーマが何だったか、ご存じだろうか。答えは冒頭に挙げた日本のポップカルチャーだ。アニメやゲーム、マンガ等の日本のコンテンツは今やアフリカでも現地の若者の支持を集める。日本発コンテンツの海外売り上げは2023年に5・8兆円

と半導体産業、鉄鋼産業の輸出額を超える規模となり、「基幹産業」と言えるまで成長、今後もさらなる拡大が見込まれる。日本を世界に発信する大規模国際イベントでもコンテンツが看板役を担っている。

世界7カ所にコンテンツ産業支援拠点を設置

「日本のアニメ需要が広がっている」「継続的なビジネスのカギはマーチャンダイジング」――。8月下旬のムンバイ市内。ジェトロが企画した「インド・エンタメ産業視察&マツチングツアー」には日本の映画やアニメの制作企業、著名キャラクタービジネスを手がける企業など10社が集結した。参加者は、現地インフルエンサーと意見交換をしたり、地場の映画配給・興行会社、アニメ制作スタジオなどを訪問したりする中、市場理解を深め、またビジネスパートナー候補企業と接点

深化に努めている。

ソフトパワーの代表格、日本のコンテンツ産業

合状況などの情報を提供するとともに、現地企業との商談を支援している。各地の状況は多様なため、現地での日本のコンテンツ普及のために、今やるべきことを見定めて活動している。

2025年6月には東京にコンテンツ専用相談窓口も整備した。企業の相談に個別対応するとともに、セミナーや現地発レポートによる海外情報の発信、業界関係者との会合の開催などを通じて、より多くの日本企業に海外市場に挑戦していただけるよう支援体制の

コンテンツ産業の大きな特徴の一つは、その波及効果の大きさにある。日本のコンテンツが海外に広がることは、作品の流通にとどまらず、わが国の商品やサービスへの関心を高める二次的効果を生む。アニメや映画を通じて日本の食文化、ファッション、観光地などへの関心が喚起されるのだ。さらには、日本のコンテンツに触れ続けることにより、わが国の人々が共有する美意識や倫理観、価値観といった文化的背景への理解と親しみも育まれる。国際社会において日本の存在感を高める「ソフトパワー」として、経済効果だけでは測りきれない力を有する。



ジェトロ担当者による「コンテンツ海外展開支援拠点」の紹介
撮影：ジェトロ

世界もこうしたコンテンツの魅力に着目している。韓国や中国をはじめとする国々で、国を挙げた産業振興が進み、世界の競争環境が厳しくなっているこ

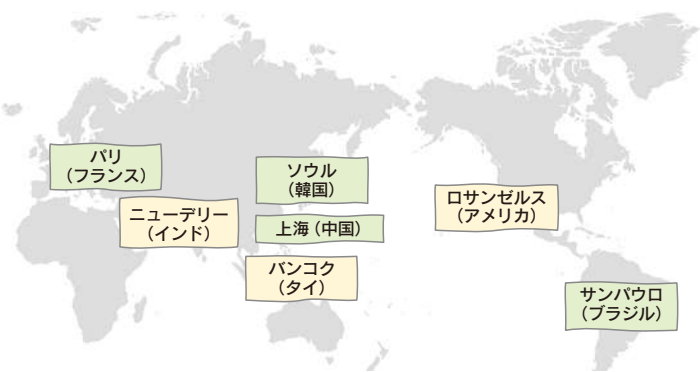
とも事実だ。

一方、日本のコンテンツ産業の強力な追い風の一つは、日本のアニメ、ゲーム、マンガ・書籍、音楽、映画・映像に期待する世界のファンの「推し」であろう。歴史的に紡がれてきた日本のコンテンツは、世界の人々の心に届き、共感を得る力を持っているのだ。世界各国に広がるジェトロ海外事務所からは、各地での日本のコンテンツの人気の高まり、需要の大きさに関する報告を受けている。

海外の実情をビビッドに知ることは、オールジャパンでのコンテンツ海外展開、企業の進出の第一歩だ。2025年7月29日、ジェトロは経団連と、「コンテンツ産業の更なる海外展開に向けて」をテーマとするシンポジウムを共催した（写真）。この機会に、海外支援拠点の駐在員や現地スタッフが勢ぞろいし、各国のニーズや最新の市場動向、各拠点での活動を報告した。シンポジウムの前後には経団連クリエイティブエコノミー委員会や経済産業省と、ジェトロ海外駐在員らとの意見交換も行い、官民一体となったコンテンツ産業の海外展開の一層の推進の必要性を関係者全員で共有することができた。

ソフトパワーの代表格であり、世界の「推し」を獲得する日本のコンテンツ。今後も経団連、産業界との意見交換を重ね、具体的なニーズや課題を念頭に、オールジャパンで海外に挑戦する機運を一層盛り上げ、産業の振興に貢献してまいりたい。

図表 ジェトロのコンテンツ海外展開支援拠点



（注）黄色は2024年度配置先、緑色は2025年度配置先
Copyright (C) 1995-2025 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

（注）転スラ：『転生したらスライムだった件』